

テーマ③【消費・生活】の提言案

案	提言案(第5回の予備投票時にフォームに記載されていた文言)	賛成	保留	反対	賛成%	賛保%	代替案(第5回で「意味内容の変更を伴う修正案」としてグループから提案されていた文言)
準確定	4111 使い捨てを減らすために、市民は、学用品を再利用する	31	4	6	76%	85%	
準確定	4112 制服を買わなくても済むように、学校は、私服と制服を選べるようにする	23	14	4	56%	90%	
準確定	4113 リサイクルのために、事業者は、すべての衣料品を店舗にて回収する	24	13	4	59%	90%	
準確定	4114 カーシェアリングを利用しやすくするために、地域コミュニティ(自治会など)が連携して、カーシェアリング体制を整える	23	13	5	56%	88%	
準確定	4121 使い捨てを減らすために、市は、学用品を貸し出して繰り返し使う	28	6	7	68%	83%	
準確定	4122 資源を有効利用するために、市は、教科書や参考書のデータの入ったタブレットを貸与する	26	11	4	63%	90%	
要改善	4123 市は、公用車を使わないときにカーシェアリングに活用する	20	15	6	49%	85%	(修正提案なし)
準確定	421x 市を含む事業者は、カーボンフットプリント(商品・サービスの原材料調達から産棄・リサイクルまでのCO2排出量)が小さい製品を選ぶ・購入する	30	9	2	73%	95%	
準確定	4221 市民の選択を支援するために、国は、カーボンフットプリント(商品・サービスの原材料調達から産棄・リサイクルまでのCO2排出量)の表示を製品等に義務付ける	31	8	2	76%	95%	
要改善	4222 適切な買い替えを促すために、市は、買い替えをサポートするサービスなどに補助金を出す	7	31	3	17%	93%	①ゼロカーボンに最適な買い替えを促すために、市は、買い替えをサポートするサービスなどに補助金を出す ②適切な買い替えを促すために、市は、買い替え時をお知らせするサービスなどに補助金を出す
確定	4311 輸送コスト削減や地元農家支援のために、市民は、地産地消の食品や商品を購入する	34	5	2	83%	95%	
準確定	4321 地産地消のものが安く買えるように、市は、農家を支援(補助金・スタートアップ)する	31	7	3	76%	93%	
要改善	4322 市は、地産地消推進センター(道の駅・朝市など)をつくる	12	26	3	29%	93%	市は、地産地消推進センター(道の駅・朝市など)を設置し、子ども食堂支援も実施する
準確定	4411 フードロス減らすために、事業者は、賞味・消費期限間近の食品や規格外品が安く買える店舗をつくる	31	7	3	76%	93%	
要改善	4412 フードロス減らすために、事業者は、食品の量り売りをする	10	28	3	24%	93%	フードロス減らすために、事業者は、使い捨て容器をやめて食品の量り売りをする
要改善	4413 食品の包装容器を減らすために、事業者は、過剰包装を見直し、マイ容器でも購入できるようにする	8	31	2	20%	95%	包装容器を減らすために、事業者は、過剰包装を見直し、マイ容器でも購入できるようにする
不掲載	4414 事業者は、各家庭における食品の期限を管理するシステム(装置)をつくる	19	9	13	46%	68%	
準確定	4421 国(県・市)は、フードロス削減に取り組む店の税を軽減する	25	10	6	61%	85%	
不掲載	4422 市は、食品の量り売りや過剰包装の削減のモデル店舗を作って実証実験をする	23	8	10	56%	76%	
要改善	4423 市は、食品や農産物のロスなくセンターを設置する	7	31	3	17%	93%	①食品や農産物のロスなくするために、市は、規格外の農産物を安く売る店をつくったり、給食で使うくみをつくる ②市は、食品や農産物のロスなくセンターを設置し、子ども食堂支援も実施する ③市は、食品や農産物のロスなくするためのシステム(捨てる前に利用できる子ども食堂など)をつくる
要改善	4511 消費者による車の移動を減らすために、事業者は、無人の(多機能・多用途)移動販売車を市内に走らせる	7	32	2	17%	95%	①消費者による車の移動を減らすために、事業者は、注文できたり他の荷物(宅配便等)も載せられる無人の移動販売車を市内に走らせる ②消費者による車の移動を減らすために、事業者は、有人の地域巡回販売車を市内に走らせる ③消費者による車の移動を減らすために、事業者は、無人の水素移動販売車を市内に走らせる
準確定	4512 リサイクルを促進するために、企業と研究所は、ゴミ自動分別技術を開発する	30	7	4	73%	90%	
要改善	4513 事業者は、水素を中心とした(消費の)まちづくり「水素タウン」をする	4	29	8	10%	80%	①事業者は、水素エネルギーを中心としたまちづくりをする ②事業者は、次世代エネルギーとして水素を中心としたまちづくり「水素タウン」をする
要改善	4521 市は、無人の移動販売車のしくみを整える	17	16	8	41%	80%	消費者による車の移動を減らすために、市は、無人の移動販売車のしくみを整え、事業者を支援する
準確定	4522 リサイクルを促進するために、市は、ゴミ自動分別技術を導入する	27	11	3	66%	93%	
要改善	4523 国は、水素利用のための技術開発を支援する	10	31	0	24%	100%	①国は、水素などの再生エネルギー利用のための技術開発を支援する ②国は、次世代エネルギー利用のための技術開発を支援する
準確定	4524 市は、ゼロカーボンを目指す取り組みを市民の共感を得られる人に広報してもらう	30	10	1	73%	98%	
不掲載	4525 ゼロカーボンの取り組みを促進するために、市は、ゼロカーボンの取り組みを総合的に案内して、応援ポイントを付けるアプリを開発する	23	8	10	56%	76%	
準確定	452x 市は、毎年ゼロカーボン達成状況を市民に知らせる義務を負う	31	10	0	76%	100%	